

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-69	高等学校	国語	論理国語	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	論国 713	探求 論理国語		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「論理国語」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「論理国語」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

①指導しやすい2部構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「I部」「II部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けた。また、評論学習を通じて得た知見を生かし、評論の内容理解をさらに深めるための問いおよび参考の文章を「〈知〉の深化」として3つの評論教材に設定・配置した。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
I部「評論」5単元 (11教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ22教材を配した(第1号)。	①18~33 42~59 72~101 110~135 158~180 228~251 262~283 292~315
II部「評論」5単元 (11教材)	②I部に、生命を考える教材「いのちは誰のものか?」を配した(第4号)。 ③I部に、環境を考える教材「木を伐る人/植える人」を配した(第4号)。 ④I部に、社会を考える教材『「である」ことと『する』こと』を配した(第3号)。 ⑤II部に、社会を考える教材「市民社会化する家族」「地図の想像力」「真理の探求と民主主義」を配した(第3号)。	262~283 292~315 326~340 362~381 ②25~33 ③81~101 ④168~180 ⑤262~272 362~381

I 部 「評論解析 A」 (4 教材) 「評論解析 B」 (4 教材) II 部 「評論解析 C」 (4 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、「評論解析」3 単元を設け、多彩な内容を持つ 12 教材を配した (第 1 号)。	①34～41 102～109 252～261
I 部「体験と思索」 (1 教材) II 部「体験と思索」 (1 教材)	①個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養う教材「カフェの开店準備」を配した (第 2 号)。 ②平和を考える教材「沙魚」を配した (第 5 号)。	①60～65 ②316～325
I 部「実社会」 (5 教材) II 部「実社会」 (5 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、多彩な内容を持つ 10 教材を配した (第 1 号)。 ②環境の保全について考える教材「プレゼンテーションソフトを活用して発表する」を配した (第 4 号)。 ③個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、進学・職業について考える教材「志望理由書を書く」を配した (第 2 号)。 ④生命誕生について考える教材「ニュースを読む」を配した (第 4 号)。 ⑤「製造物責任法」を題材に、主体的に社会の形成に参画することについて考える教材「複雑化する人工物—法律と責任」を配した (第 3 号)。	①181～201 382～413 ②386～391 ③392～397 ④398～404 ⑤405～413
テーマ型単元 I 部「境界をこえて」 (3 教材) II 部「近代を見つめる」 (3 教材)	①自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう、I 部にテーマ型単元「境界をこえて」を設け、3 教材を配した (第 3 号)。 ②個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養うために、II 部にテーマ型単元「近代を見つめる」を設け、3 教材を配した (第 2 号)。	①136～156 ②342～361
「論文を読む」 (3 教材)	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、学術的な内容を持つ 3 教材を配した (第 1 号)。	①202～226

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・認識や思考を支えるものとしての言葉の働きに気付き、多様な社会や人とのあり方を考えるきっかけとなるよう、導入文として「気持ちよさという罪」を設けた。
- ・さまざまな情報の扱い方を身につけるために、複数のテキストで構成した教材 (I 部評論Ⅳ「ロボットは心を持つか」、I 部評論Ⅴ「『である』ことと『する』こと」、II 部実社会「ニュースを読む」など) を数多く設定した。また、見解の共通点や相違点を比べることを目的とした単元「評論解析 C」を設けた。
- ・一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「評論コラム 1～5」と「実用文コラム」を設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-69	高等学校	国語	論理国語	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	論国 713	探求 論理国語		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、論理的・批判的に考える力および表現する力を養うために、「書く一問いを生む」「書く一問いに答える」単元を設けた。巻頭・巻末には、主体的な言語活動を補佐するための資料として「付録」を設けた。

2. 対照表

図書構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数				
部	単元		教材名	知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B		
I 部		評論を読み解く 解析マスター	前見返し	(1)ウエ(2)ア			—	—		
		情報の整理 思考ツールの活用	付録	(2)イ			—	—		
		文献調査の方法	付録	(1)アウエ			—	—		
	評論 I	気持ちよさという罪	チンパンジーは「おせっかい」をしない	10~17			(1)アカ		1	
			いのちは誰のものか?	18~24	(1)アイウエ(2)イ		(1)アカ		2	
			〔参考〕〈知〉の深化 「晴れた空の下で」	25~33	(1)エ(2)アウ		(1)アオ		2	
		評論 解析A	科学と市民	集落の創造	34~35	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
				「もどかしさ」の融合	36~37	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
				「可能性」としての貨幣	38~39	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
				動物の信号と人間の言語	40~41	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
		評論 II	動物の信号と人間の言語	〔評論コラム1〕言語、その創造性と束縛	42~48	(1)アイウエ		(1)アカ		2
				行動としての話し言葉	49	(1)アイ	—	—	—	—
				行動としての話し言葉	50~59	(1)アイウエ(2)アウ		(1)オカ		2
		体験と思索	カフェの開店準備	60~65	(2)ウ		(1)オカ		1	
		「書く」 一問いを 生む	世界の見え方を変える	「書く」ことへの挑戦一問いを生む	66~69	(1)エ		(1)ア		1
「書く」ことへの挑戦一問いを生む	70~71			(2)アイ	(1)アイ		3			
評論 III	イスラム感覚	木を伐る人/植える人	72~80	(1)アイウエ(2)アウ		(1)ウカ		2		
		木を伐る人/植える人	81~101	(1)アイウエ(2)アウ		(1)カキ		3		
		〔参考〕〈知〉の深化 「なめとこ山の熊」		—	—	—				

図書の構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数	
部	単元	教材名		知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B
I 部	評論 解析B	「物語」としての伝統	102～103	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
		「資本」の出現	104～105	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
		博物館というメディア	106～107	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
		現実・相貌・物語	108～109	(1)ウエ(2)ア		(1)アウ		1
	評論IV	芸術も科学も「別世界」を見せる	110～116	(1)アイウエ(2)ア	(1)イエ		4	
		ロボットは心を持つか	117～125	(1)アイウエ(2)ア ウ		(1)ウキ		2
		〔参考〕そもそも心とは何か		—	—	—		
		〔評論コラム2〕人工知能を通して人間を考える	126	(1)イ	—	—	—	—
		ドローン兵器とSNS	127～135	(1)アイウエ		(1)アカ		2
	境界を こえて	器としての「わたしたち」	136～142	(1)アイウエ		(1)アカ		2
		見えぬものを見るということ	143～146	(1)アイウエ		(1)アオ		2
		もしも宇宙に行くのなら	147～156	(1)アイウエ		(1)アカキ		2
		〔評論コラム3〕「宇宙人」には遭えないけれど	157	(1)イ	—	—	—	—
	評論V	暴力はどこからきたか	158～167	(1)アイウエ		(1)アカ		2
		「である」ことと「する」こと	168～180	(1)アイウエ		(1)アカ		3
	実社会	実用的な文章1 議事録を作る	181～185	(1)ウエ(2)イ	(1)オカ		4	
		実用的な文章2 ゲームのルールをまとめる	186～188	(1)ウエ(2)イ	(1)オカ		4	
		実用的な文章3 通信文を書く	189～193	(1)ウエ	(1)オカ		4	
		実用的な文章4 観光地紹介を書く	194～196	(1)ウエ(2)イ	(1)アイ		4	
		キャラクターの身体、自動車の身体	197～201	(1)ウエ	(1)ウエ		4	
	論文を読む	変身に伴う快樂と怖れ—「山月記」を通じて	202～210	(1)アイウエ(2)ア (3)ア		(1)アウ		2
		淋しい人間—「ころも」を通じて	211～220	(1)アイウエ(2)ア (3)ア		(1)アウ		2
		ベルリンの「内」と「外」—「舞姫」を通じて	221～226	(1)アイウエ(2)ア (3)ア		(1)アウ		2
	II 部	評論I	オブジェとイメージ	228～236	(1)アイウエ(2)ア		(1)ウカ	
人間の領域			237～251	(1)アイウエ(2)イ		(1)アイ		3
〔参考〕〈知〉の深化 「アノマロカリス」				—	—	—		
評論 解析C		権力にまつわる「秘密」	252～253	(1)ウエ(2)アイ		(1)アイウ		2
		メディアと民主化	254～255					
		足跡	256～257	(1)ウエ(2)アイ		(1)アイウ		2
		創造としての本歌取り	258～261					
評論II		市民社会化する家族	262～272	(1)アイウエ(2)ウ		(1)オ・カ		2
		〔評論コラム4〕家族と社会一人一人のために	273	(1)イ	—	—	—	—
		身体と出現	274～283	(1)アイウエ(2)ウ		(1)エ・オ		2
	〔参考〕変身—冒頭部より							

図書の構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容			配当時数	
部	単元	教材名		知識及び技能	A 書くこと	B 読むこと	A	B
Ⅱ 部	「書く」 一問に 答える	知的創造のために	284～287	(1)エ		(1)ア		1
		「書く」ことへの挑戦—小論文を書く	288～289	(1)ウエ(2)アイウ	(1)イウエオ カ		4	
		「書く」ことへの挑戦—レポートを書く	290～291	(1)ウエ(2)アイウ	(1)アイウエ オカ		4	
	評論Ⅲ	言葉の〈意味〉と〈表徴〉	292～297	(1)アイウエ(2)ウ		(1)アオ		3
		霧の風景	298～305	(1)アイウエ(2)ア ウ		(1)ウオ		3
		「貫之は下手な歌よみ」か?	306～315	(1)アイウエ(2)ウ		(1)アオ		3
	体験と思索	沙魚	316～325	(2)ウ		(1)カキ		2
	評論Ⅳ	ファンタジー・ワールドの誕生	326～333	(1)アイウエ(2)ア		(1)ウカ		3
		ポストモダンと排除社会	334～340	(1)アイウエ(2)ア		(1)アエ		3
		〔評論コラム5〕「大きな物語」の喪失とポストモダン	341	(1)イ	—	—	—	—
	近代を 見つめ る	日本文化私観	342～350	(1)アイウエ(2)ア		(1)ウカ		2
		娯楽について—「人生論ノート」より	351～357	(1)アイ		(1)オカ		2
		侏儒の言葉	358～361	(2)イ	(1)アオ		4	
	評論Ⅴ	地図の想像力—ボードリヤールの寓話	362～372	(1)アイウエ(2)ウ		(1)アオ		3
		真理の探求と民主主義	373～381	(1)アイウエ		(1)オカ		3
	実社会	実用的な文章5 全国高校生「四字熟語」総選挙	382～384	(1)ウエ(2)ア	(1)ウエ		3	
		〔実用文コラム〕四字熟語とは何か	385	(1)アイ	—	—	—	—
		実用的な文章6 プレゼンテーションソフトを活用して発表する	386～391	(1)ウエ(2)イ	(1)アイ		4	
		実用的な文章7 志望理由を書く	392～397	(1)ウエ	(1)ウカ		4	
		実用的な文章8 ニュースを読む	398～404	(1)ウエ(2)アイ		(1)イエ		2
		複雑化する人工物—法律と責任	405～413	(1)ウエ(2)イウ		(1)イキ		2
	付録	現代文重要語	414～416	(1)イ			—	—
		実用文解析へのステップ	後見返し				—	—
							50	90
						総計	140	